

あいあい通信

AIAI-TSŪSHIN 2005.9 Vol.30



Matsuda Hospital

特集◎ 胃・大腸の腫瘍、早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術／浅野道雄医師

ストーマ外来のお知らせ

手軽にできるツボ講座

院長の一言メッセージ

講演活動報告

夏バテ対策メニュー

佐鳴湖国際駅伝 松田病院チーム初出場

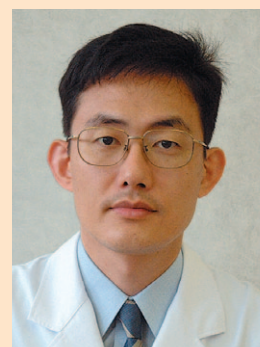
〈アイガモの親子〉

7月5日 元気なアイガモのヒナがかえりました
〔佐野文子さん（検査部）の自宅庭にて〕



胃・大腸の腫瘍、早期癌に対する

内視鏡的粘膜下層剥離術



内視鏡センター長
あさのみちお
浅野道雄 医師

内視鏡治療の流れ

早期胃癌を内視鏡で切除するという画期的な方法が、札幌のある外科医により試られたのは、1980年代後半のことです。

彼は、忙しい昼間の手術や廻診が終わった夜遅くに、一般市中病院の屋上に設けられた小さな小屋で、犬に麻酔をかけて粘膜を切除する実験を繰り返し、ERHSEと呼ばれる方法を確立しました。その後、1990年代前半、国立がんセンターの若きレジデント（研修医）らにより、「ITナイフ」という道具が開発され、2cmを超える大きな腫瘍でも、一塊にして切除できるようにになりました。また、長野県の地域の中核病院である佐久総合病院の先生や、高知県でへき地医療の経験を積んできた自治医科大学の先生などの若い医師らにより、それぞれ独自の道具が開発され、現在急速にその技術は進歩、普及しつつあります。

内視鏡治療の技術

この新しい技術は内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）と呼ばれています。

内視鏡治療の技術革新の過程には、特徴があります。それは、大学病院ではない第一線の臨床病院で、30代の若手医師らが中心になってきたという点です。毎日毎日、多くの内視鏡検査を担ってきた若い医師らが、小さな癌のために開腹手術されてしまう患者さんたちを目の当たりにし、何とかしたいという情熱を持ち続けたからではないかと思っています。研究室では決して生まれない手探りの開発が今の技術を支えており、今なお、技術は進歩しつつあります。当初、壁の厚い胃に限られて行われていたこの治療法も、最近では、壁の薄い食道や大腸にも行われるようになりました。

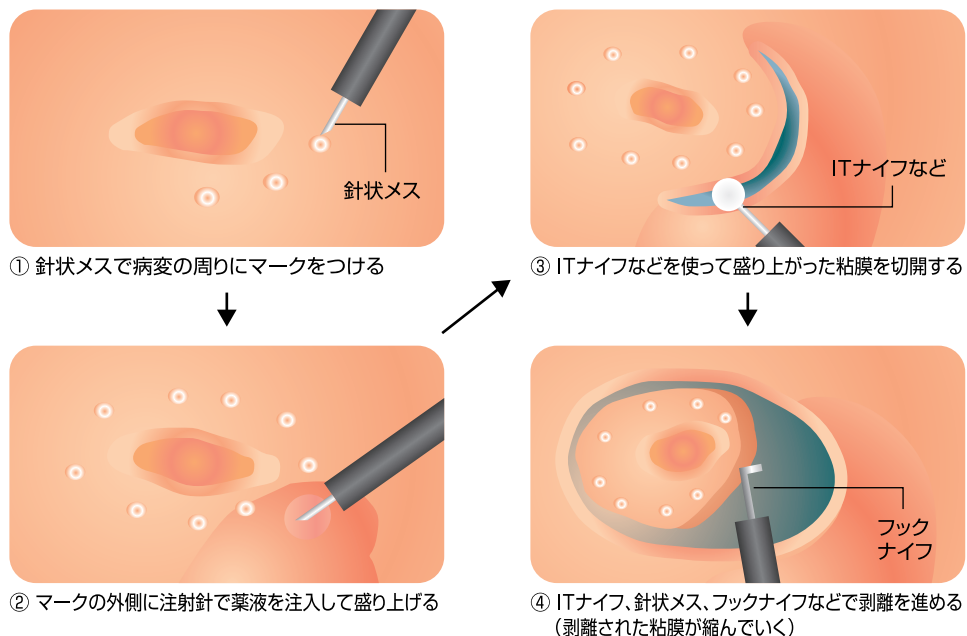
しかし、この技術の習得は容易ではなく、この治療法を確実に施行できる施設は限ら

れています。これは、基本となる内視鏡操作が確実である必要があり、十分な内視鏡の経験が必須であること、拡大観察などを駆使して病変の範囲を適確に診断する技術が欠かせないこと、などのハードルをクリアしなければなりません。また、専用の切開凝固装置や処置具なども必要で、それらの取り扱いにも慣れなければなりません。

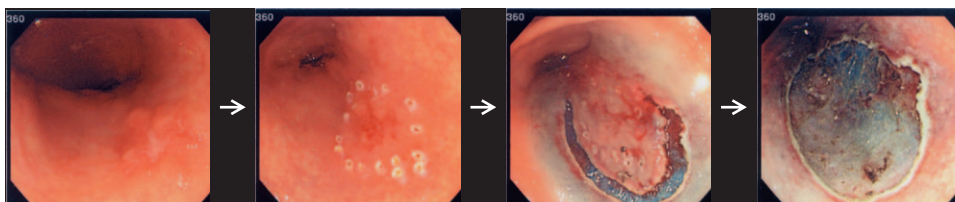
内視鏡治療の現状

松田病院は年間内視鏡検査8500件と県内屈指の件数をこなしており、2000年からは通常の検査にも拡大内視鏡を用い、高い精度を目指してきました。このような経験を背景に、2003年にこの方法を導入し、これまでに数多くの早期胃癌、腫瘍のESDを行ってきました。そして、2004年からは、この地域では初めて大腸にもESDを行い、安全な技

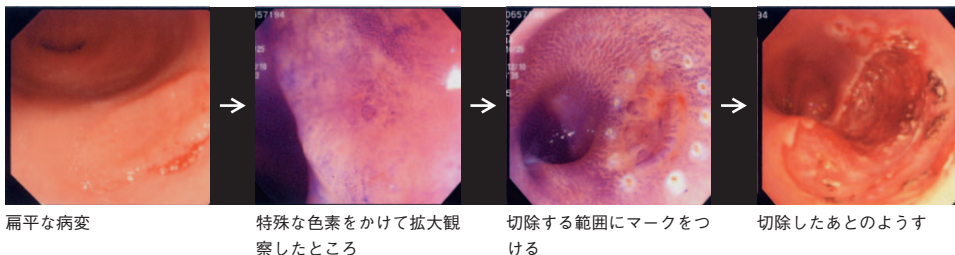
ITナイフを用いた腫瘍切除方法



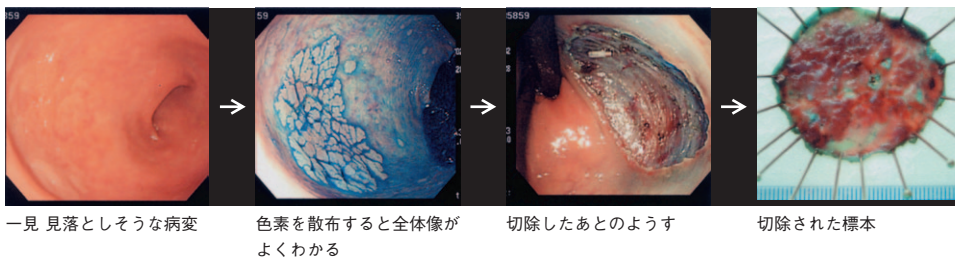
■大きさ 2.0cm の早期胃癌



■大きさ 1.8cm の早期直腸癌



■大きさ 5cm の直腸良性腫瘍



術として確立してきました。これまでに偶発症で開腹手術が必要となったケースはありません。また、肛門に近い直腸に発生した面積の広い腫瘍（LST）に対して、肛

門からの切除を組み合わせた方法を独自に開発し、TACE-ESDと名づけ、行っております。従来では人工肛門が必要とされたような病変も、この方法で安全に切除で

きるようになっていきます。今年4月に内視鏡センターが開設され、ますます最先端の内視鏡検査・治療を行っていきます。ご期待ください。

ストーマ外来のお知らせ

ストーマ外来担当看護師
塩崎・佐藤

松田病院では、大腸・肛門病専門病院としてストーマの保有者またはご家族の方を対象として専門外来を開設しております。

一般的にお悩みの多いストーマ周囲の皮膚のかぶれやかゆみ、装具が合わない、便尿が装具から漏れる、臭いや音が気になり日常生活も思うように出来ないなど、さまざまな不満をお持ちの方に次のようなお手伝いをさせていただいております。



塩崎（左）・佐藤（右）

1

人工肛門、人工膀胱、腸瘻、腎瘻などのストーマケアやセルフケアのご指導、装具のご紹介、患者会のお知らせ、社会保障に関する説明や手続きのお手伝い

2

褥瘡のケア

3

胃瘻周囲のスキンケア

4

在宅ケアが必要な場合、院内外の訪問看護師やケアマネージャー、デイケアとの連携業務など

手術後の生活に慣れ、落ち着いてからもストーマやおなかの形、皮膚の張りやたるみなどは少しずつ様子が変わっていきます。特にトラブルがなくても3～6ヶ月に1度は確認や情報収集などにストーマ外来の受診をお勧めします。

私たちストーマ外来担当看護師は、人工肛門を造る前の患者様について不安を和らげたり、術後さまざまな面で不自由を感じられる患者様について早くストーマに慣れて、自信を持って明るい生活を送っていただけますよう日々努力しております。そのために、手術前から入退院、その後の外来通院まで継続的にケアさせていただいております。また、プライバシーの確保に十分配慮し、お気軽に何でもご相談できる環境づくりを心がけています。

ストーマの方への利用設備



オストメイト専用トイレ

1号棟 外来患者待合トイレ横にH16.1設置。ストーマを洗浄する温水シャワー、ストーマを装着しやすいよう正面に鏡を設置した専用汚物流し台型。



ストーマリハビリ室

個室で一般外来とは離れた3号棟に設置し、プライバシーに配慮しています。



ストーマリハビリ室内 装具パネル

毎年多くの装具が開発されています。患者様一人一人に適した装具や付属品についてご紹介しています。また、ご利用者の声をメーカーへ伝えて新しい商品開発に活かしております。

ストーマ外来診察日

毎週 火・水・金 8:30～12:00

（原則予約制ですが、当日受付も対応しております。）



手軽にできるツボ講座 ～便秘篇～

東洋医学外来 福岡 智美

出 そうでない、おなかが張った感じがする。便秘は特に女性にとって悩みのタネです。でもご安心を。便秘もツボ押しで解消することができます。今回はそんな便秘でお悩みのみなさんに家庭で手軽にできる便

秘を解消するツボをご紹介します。

まず、便秘と一口に言っても、東洋医学では便秘のことを「秘結（ひけつ）」と呼び、以下の4つのタイプに分けています。

1 熱秘（ねつひ）

辛いものの偏食や元来胃腸に熱がこもりやすい方になるタイプです。口が渇く、口臭が強いなどの症状が見られます。

2 氣秘（きひ）

ストレス性や長時間座ることの多い方になるタイプです。便意はあるが排便できない、ゲップが頻回にあるなどの症状がみられます。

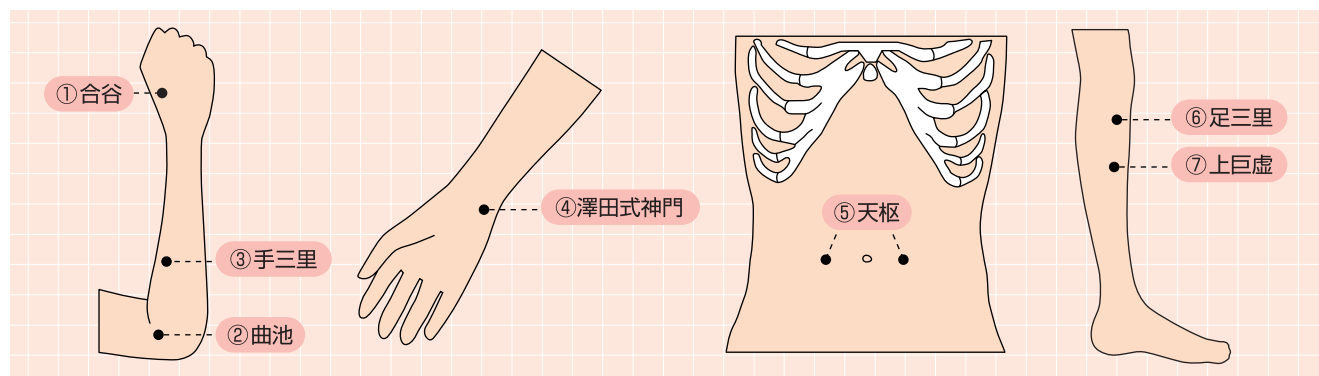
3 虚秘（きょひ）

過労、入院中、産後、虚弱体質、老人に多くみられ、気や血が不足しておきるタイプです。排便時に息切れや顔色が悪いなどの症状がみられます。

4 冷秘（れいひ）

女性に最も多い、冷え性からくるタイプです。腹部や手足の冷え、腹痛などの症状がみられます。

治療はそれぞれのタイプ（東洋医学では「証」という）に合わせたツボを選択しておこなうことがベストですが、今回は共通に使えるツボを使用してみましょう。



【手のツボ】

- ①合谷（親指と人差し指の骨が分かれる所の人差し指寄り）
- ②曲池（肘を曲げてできるしわの外端）
- ③手三里（曲池から指幅3本下）
- ④澤田式神門（手首小指側の腱の外側）

【お腹のツボ】

- ⑤天枢（へその両側、指幅3本分外）

【足のツボ】

- ⑥足三里（膝の皿の下、少し外側にある骨の突起から指幅3本下）
- ⑦上巨虚（足三里から指幅4本下）

全部を押さなければいけないわけではありません。押して痛い、または心地良いところがそのときの治療点です。1日3～5分を目安に行ってください。また、リラックスの状態で行うとより効果があります。

医療界の経済状況について

院長◎松田 保秀

況の余波が流れ込み、また診療報酬の減額など医療費抑制の嵐が吹き荒れて、各医療機関は同じ形態で同じ内容の診療業務を行っても、かつてのレベルに到達せず経済は火の車となってしまう。さらに、行政改革と医療費抑制と言う外からの圧力によって、患者中心の医療でサービス競争となり、各医療機関は医療の内容及び設備を否応なしにレベルアップせざるを得なくなった。たとえ今使えるものでも、時代遅れとなると捨ててまで新規購入を余儀なくされるという二重三重のプレッシャーで追いまくられてきたのが現実である。世間では、医療がいわゆる外食産業や製造業と同じ感覚で顧客のニーズに応えることを是とするような雰囲気になってきた。一方、医療の中にも企業経



北海道旭川市クラークホースガーデンにて（奥様と）

夏の暑さに耐えつつ、最近の独り言を言う。

かつて不況が本格的になり、各企業が血の滲む努力をして生き残り策を模索していた時、医療の世界では、慣習や伝統的な制度の中にどっぷりと浸かって、倒産や商売変えを他人事のように、それでいて心配顔で眺めていたものである。そして、ある日、

医療界の中にも不

況の余波が流れ込み、また診療報酬の減額など医療費抑制の嵐が吹き荒れて、各医療機関は同じ形態で同じ内容の診療業務を行っても、かつてのレベルに到達せず経済は火の車となってしまう。さらに、行政改革と医療費抑制と言う外からの圧力によって、患者中心の医療でサービス競争となり、各医療機関は医療の内容及び設備を否応なしにレベルアップせざるを得なくなった。たとえ今使えるものでも、時代遅れとなると捨ててまで新規購入を余儀なくされるという二重三重のプレッシャーで追いまくられてきたのが現実である。世間では、医療がいわゆる外食産業や製造業と同じ感覚で顧客のニーズに応えることを是とするような雰囲気になってきた。一方、医療の中にも企業経営と同じマネージメントシステムが導入され、会計準則まで要求されるようになった。つまり病院経営をガラス張りになさい、と言う指示がでてきた。公的病院や当院のような特定医療法人では、これ以上見せるところがないくらい透明な経営システムになっているのに。しかも、これら一連の変革にまつわる費用は全て自分持ちで、医療費は下げます、しかし医療の質は上げなさい、医療の安全性も確保しなさいと、マスコミと法規制を使つての過酷な要求が突き付けられている。私たち医療人は極めて限られた狭い社会の中で、さまざまな法的規制に手足を縛られて医業をやっているのが現実である。この法的束縛は人の命を扱うことを許されているのだから当然といえるが、最近思うに余りにも医療界に自由がなさ過ぎるように思う。国には立法、司法、行政と言う三権分立の精神がある。これらは憲法で確実に保障されているのだ。医療では「利益を追求してはならない」という立派な医療法があつてけん制されている。しかし国、自治体もだれも医業に関し

て責任を持つてくれないし、持つはずもない。利益を追及しないでうまく経営しなさいということのようだ。

元来医療は原始的なシステムで、ヒューマニズムという美德と統制経済の中で細々と医療人が生きていたから、不況の時代には国民と一緒に苦労をかみ締め、世の中が変わつて例え日本の経済状況が大きく改善したとしても、その恩恵にはあずかれない。そのようにできている、だから医療はいつまで経つても成人しない。今後、医療がどのように変化するのは結局のところ国民一人一人の気持ちにかかっているようだ。



講演活動報告

(H17年1月～)



若いお母さんを対象に、便秘の講義をする院長（袋井めいわ保育園）

当院では皆様の健康づくりにお役に立つため、大腸・肛門病の啓蒙活動を行っています。自治会の集まりや公民館活動、企業の研修会など講演のご希望がございましたら、お気軽にご一報下さい。

【講演活動】

講演日	主催者	講演内容	講演者
1/12	佐藤町診療所（浜松市佐藤）	大腸がんは怖くない	浅野医師
1/31	県西部超音波検査勉強会	超音波実技指導	川嶋放射線技師
2/18	浜松正和会	大腸がんの予防のお話	河合医師
2/27	難病患者地域支援対策推進事業	炎症性腸疾患の理解と療養上の注意	中井医師
//	同上	食事について	青野管理栄養士
3/25	開業医・医師勉強会（長野）	超音波検査について	川嶋放射線技師
5/26	黒潮会講演会（浜松）	増え続ける大腸癌と大腸ポリープ	松田院長
6/7	浜松東・西法人会合同講演会	腸を休めると免疫力がアップする	松田院長
6/9	静岡県西部機械健康保険組合講演会	大腸癌検診の有効性—腸と免疫—	松田院長
6/16	群馬肛門疾患研究会（群馬）	消化器病に必要な肛門治療の実際	松田院長
6/26	めいわ可睡保育園講演会（袋井）	若い女性と乳幼児の便秘～おしりの悩みあれこれ～	松田院長
7/16	浜松フォルテ講演会	美容と健康を求めて腸は語る	松田院長
7/9	M's クラブ（柳原新聞店）	大腸がんを予防するには	河合医師

【執筆・投稿・新聞掲載】

掲載日	雑誌・新聞社	掲載内容	執筆者
2月	毎日ライフ	痔・肛門の病気「裂痔の症状と治療」	松田院長
3/29	中日新聞	大腸がん検査など患者への負担軽減「新内視鏡装置導入」	浅野医師（取材）
3/31	静岡新聞	高性能の内視鏡センターを開設	浅野医師（取材）
5/7	日刊ゲンダイ	痔、この病気に強い病院ベスト10	—
7月	月刊がん	がんの発病から再発防止まで威力を発揮する腸強化法	松田院長
8月	サライ	理想的な便について	松田院長

夏バテ対策メニュー 夏野菜のカレー煮

暦の上ではもう秋というのに、まだまだきびしい残暑が続きます。こんな暑い時期は熱い食べ物や香辛料を使って汗をかき、自律神経を正常にすることが大切です。

材料（4人分）

たまねぎ 1個
 ベーコン 2枚
 なす 3本
 ピーマン 2個
 トマト 2個
 ケチャップ 大匙2杯
 カレールー顆粒 大匙2杯（市販のカレーキューブ2個）
 オリーブ油 大匙2杯
 コンソメキューブ 1個
 塩・こしょう 少々

そこで今回は、簡単に出来る「夏野菜のカレー煮」を紹介します。炒めてコトコト20～30分煮るだけ。そのまま出来たての熱々で、または冷やして食べてもおいしく、あるいはご飯やスパゲッティにのせて食べても食が進みます。おいしく食べて夏バテなど吹き飛ばしましょう。



作り方

- ① たまねぎとベーコンは1cm角に他の野菜はひと口大角切りにする。
- ② たまねぎとベーコンをオリーブ油でよく炒め透きとおってきたら、なすと残りのオリーブ油を入れよく炒める。

しんなりしたら他の野菜と調味料、水500ccを入れ煮立ったら中弱火で20～30分煮る。トロツとしたら出来上がり。カレー粉は好みで増減して下さい。

松田病院チーム 佐鳴湖国際駅伝大会初出場

渡部真一（医事課）



〔後列 / 左から〕岡本 / 伊藤（スズケン）、竹澤（東海東邦薬品）、内田、佐藤（東海東邦薬品）、平田
〔前列 / 左から〕渡部、寺田、中安、河合、秋山

私のスタートする12区（全14区間）の頃には、すでにゴールしたチームが始めたパーベキューで焼かれるあらびきソーセージの香ばしい煙が、一面に漂うという苦しい状況下にありました。私自身もその焦りと、沿道の黄色い声援に調子に乗ったことも加わり、いきなり全力疾走したところ、忘れていた反動はすぐに運動不足の体にこたえ、最後は気力だけでした。しかしながら、全員でたすきをつなぎ合って、最終ランナーがゴールしたときは日頃味わえない感動劇となりました。結果は堂々（？）の101位。来年は100位以内と皆で目標を掲げ、冷えたビールと湖面から吹くさわやかな風に汗ばんだ体をさらしながら健闘を讀み合ったのでした。



5月29日、マラソン好きな河合医師の強引な誘いに断りきれなかった病院職員の面々と、助っ人さんを加えた12名が佐鳴湖西岸に集い、松田病院チーム初出場と相成りました。病院近くの佐鳴湖で毎年行われているこの大会は、今年も有名企業の陸上チームから仮装チームなど個性豊かな全122チームが参加し、見物するだけでも楽しめる大会です。

松田病院 20 周年行事を開催します

○記念式典／祝賀式／記念誌

日時：平成18年2月18日（土）PM4:00～

場所：グランドホテル

特別講演：李 啓充先生

※その他、健康フェアなども予定しています（日時：未定）

医療機能評価を更新受講します

○受講月：平成18年6月予定

●患者様へお願い●月1回、必ず保険証の提示をお願いいたします。

【外来診療のご案内】

受付時間			診察日
午前	胃腸科・肛門科	8:30～11:30	月～金
	胃腸科・肛門科	8:15～14:00	土
	IBD 外来	8:30～11:30	木・土
	便秘外来	8:30～11:30	金
	泌尿器科相談	8:30～11:30	火
	内科相談	8:30～11:30	水・金
	ストーマ外来	8:30～11:30	月～金
午後	胃腸科・肛門科	14:00～16:00	月～金
	泌尿器科相談	14:00～16:00	火

午前中の診療に限り予約制になっております。

※予約のない方は、予約外担当医師になります。



J R=浜松駅下車 タクシーで10分 高塚駅下車 タクシーで5分
バス=浜松駅バスターミナル5番ポール（宇布見、山崎行）乗車 東彦尾
または西郵便局下車 徒歩5分 患者様駐車場180台

E-mail ora@matsuda-hp.or.jp

ホームページ <http://www.matsuda-hp.or.jp>



Matsuda Hospital

特定医療法人
社 団 松 愛 会

松田病院

〒432-8061 浜松市入野町753番地

TEL.053-448-5121 (代)

FAX.053-448-9753

(発行/松田病院広報委員会)